

## 1 目 的

改正水道法で義務付けられた“水道施設台帳の整備”を「長野モデル」として県内統一フォーマットでデータ化して整備することにより、情報共有・相互連携を図ることを目的として、「長野モデル」の構築及び活用について調査・研究を行う。

## 2 R2年度の活動状況

### 【WG開催状況】

開催	内 容
第1回 R2.11.30	【合意】 ●持続可能な水道事業経営に向けて、適切な資産管理や事業体間のデータの共有・利活用ができるよう、県内市町村等で同じデータ項目により整備する 【協議】 データの整備・保有方法（Excel・システムの活用）について 【協議】 項目数や整備スケジュール、整備する場合の費用・財源について
第2回 R3.1.12	【研究】 国が進める「水道標準プラットフォーム」※と、「水道施設台帳システム」について <small>※ クラウドを使った水道管理システム間のデータ連携を図るためのデータ流通のルール</small> 【調査】 水道施設台帳整備に対する各事業体の意向や課題をアンケート 【合意】 ●データ項目は、アセットマネジメントや広域連携、スマート化を見据えたものとする
第3回 R3.2.12	【協議】 国の標準仕様※のデータ項目と独自に追加する項目、システムによる整備について <small>※ 厚労省及び経産省と連携する「水道情報活用システム標準仕様研究会」によって検討・開発されている仕様</small> 【合意】 ●長野モデルは、水道標準プラットフォームと連携できる[国の標準仕様]をベースに、緯度経度や標高、整備時の補助率など独自のデータ項目を追加したものとする ●市町村ごとに実情が異なるため、統一的に整備をめざす「必須項目」を設定する ●台帳は、Excel形式またはシステムにより整備する ●システムの共同化については、希望する事業体で研究を進める

### 【長野モデル 概要】

#### ●長野モデルは、以下の項目で構成

- ① 水道法で、令和4年9月までに整備が求められている項目
- ② 適切な資産管理(アセットマネジメント)や広域連携(施設の統廃合など)に必要な項目
- ③ 省力化や技術継承、広域連携等に資する将来のスマート化に必要な項目

#### ●県内市町村等が統一して整備する「必須項目」を設定

#### ●必須項目は、整備する期限を設けないが、各市町村はできるだけ早期の整備をめざす

#### ●台帳は、Excel形式またはシステム(Excelによるデータ提供が可能なもの)で整備

#### ●今後システムを導入または更新する市町村等は、国が進める水道標準プラットフォームなど、クラウド上での情報を活用できるシステムでの共同化を検討する

調査

#### 管路情報等 46項目

①水道法に対応  
6項目 **〈必須〉**

②アセットマネジメント等に対応  
11項目 **〈必須〉**

③将来のスマート化に対応  
29項目

#### 施設情報 295項目

①水道法に対応  
7項目 **〈必須〉**

②アセットマネジメント等に対応  
30項目 **〈必須〉**

③将来のスマート化に対応  
258項目

図面

#### ●災害時の活用(応援部隊に情報提供)など広域連携の推進、システム導入による省力化、将来のスマート化を見据え、施設や設備等の図面をPDFなど画像データで保有する

対象：全国簡易水道協議会の「水道施設台帳作成の手引き」に記載された施設や管路等

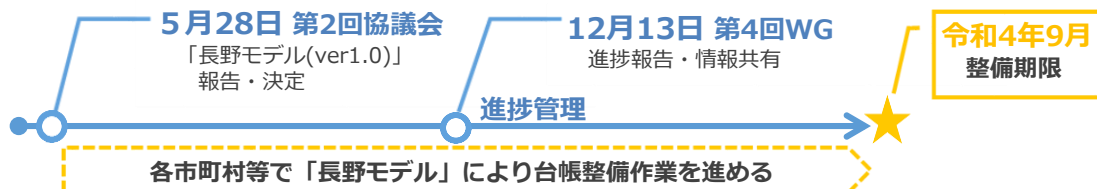
## 3 R3年度の活動状況

### 【WG開催状況】

開催	内 容
第4回 R3.12.13	【報告】 ●県水大気環境課より「水道台帳の整備状況等に関する調査結果」について報告 ●参加事業体より、整備方法や作業状況について報告 【発表】 ●松本市水道事業でのDX推進の取組について ●立科町におけるスマートメーター導入の取組について

### ✓整備状況報告での意見

- ・小規模事業者で職員数は少ないが、水源が多いため**施設数が多く苦勞している**。
- ・図面がない(古い)施設については、**現地調査により製図のうえ対応(委託)**。
- ・**委託発注**について対応している/新年度に委託発注で対応予定。
- ・**まずは入力できる箇所から**作業(Excelモデルへ直営で入力)を始めている。
- ・法定項目は既に紙やシステムで満たしているので、Excelを順次入力していく。
- ・Excelフォーマットを**整備した先の活用**についても議論が必要。
- ・できる箇所から入力しているが、**期限までにどのレベルまで仕上がるかは不透明**。
- ・**不明な箇所は「不明」と分かるようにしておくことも大切**と考える。
- ・**資産を明確にするために整備するものと理解**しており、アセットマネジメントを適正に実施するためにも、極力整備を進めておくべき。



### 台帳整備等 への支援

#### ●民間事業者等の活用(再掲)

基礎データの調査・整理、新たな整備手法の導入検討、長野モデル準拠の台帳作成支援等

#### ●長野県水道技術アドバイザー派遣等事業(案)(再掲)

行政側(実務経験者)の視点から台帳の整備、情報の共有化等について、助言・指導。